

紀伊民報

(9)

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



和歌山リハビリテーション専門職大学が今春、南近畿初の専門職大学として南海・和歌山市駅近くに開学した。健康科学部リハビリ

テーション学科の中に理学療法専攻と作業療法専攻があり、理学療法士や作業療法士の国家資格の習得を目指すという。

この面に造詣の深い医師の寺下俊雄氏が理事長に、学長には高校の校長や県の教育長を経験した西下博通氏が就任。「実践で学ぶ」「深く、分かりますく学ぶ」「最先端を学ぶ」「地域で学ぶ」を掲げて高齢化社会に対応できる人材の育成を目指している。

理学療法士はげがや病気を、手術などで入院した人を医師と共にリハビリテーションなどを通して病気から機能を回復させる手立てをすることが仕事。作業療法士は障害があり、日常の活動が困難になっている人に障害に合わせたプログラ

両専攻とも、人を助ける高い倫理観を持ち、高度の専門知識と技術力を追求し、地域社会に貢献する医療者としての崇高な精神を持つことが求められる。

寺下理事長は、和歌山国際厚生学院で多くの理学療法士を育成した経験から、

募集は理学療法専攻、作業療法専攻とも定員は各40人。入学試験は「総合型選抜」「学校推薦型選抜」(指定校・公募制)「一般選抜」「社会人選抜」がある。高校や大学などを卒業し、現在は他の職業に就いていても、医療系の資格を取って新たな道に進みたいと考えている人に門戸を開いているのが特徴だ。

専門職大学の開学

元小学校長 古久保規夫



ムをつくり、心身の機能の回復や維持のための作業療法が役割である。

これからの高齢化時代にこそ専門職大学が必要と痛感している。大学の設立を決意。「すべての人がいつまでも輝いて自分らしく生きる社会を創り、健康で長生きできる」をキーワードに、飛躍的に発展している科学技術を取り入れ、40人の少

観を育て社会から尊敬される信頼される療法士の育成を目指す。本学に学ぶことと誇りと使命感が生まれることを祈念する」と話している。

設立準備段階からこの大勢に携わってきた尾花正啓和歌山市長も「リハビリ専門

門家の育成は、地域医療の充実と共に地域の活性化にもつながる。学生の皆さんは今後、地域との交流も積極的に進めていただきたい」と期待している。

問い合わせや学校案内の請求は、和歌山リハビリテーション専門職大学(郵便番号640-8222 和歌山市湊本町3の1、電話073-435-4888)へ。